

【1 分解説】国連未来サミットとは？

総合調査部 マクロ環境調査グループ 研究理事 村上 隆晃

国連未来サミット (Summit of the Future)は、2024年9月に開催される予定の国連の一大イベントです。国連が100周年を迎える2045年に向けて、世界が直面している重大な課題に対する協力の強化とSDGsの次のグローバル・アジェンダを議論する予定です。ウェルビーイングはその中心的な課題となる見通しです。

サミットの背景は、2020年の国連75周年記念宣言にあります。宣言では現在および未来の課題に対応するための勧告を国連事務総長に求めています。2021年、グテーレス事務総長は「私たちの共通のアジェンダ」報告書を発表し、SDGs達成の加速と宣言の推進を提案しました。この報告書で世界を取り巻くリスクへの対策と新たなグローバル合意形成を目指す国連未来サミットの開催が提唱され、翌年の国連総会でサミット開催が決定されました。準備の一環として、2023年9月には閣僚会議が計画されています。

豊かさの指標としてのGDPには限界があるという議論は以前からなされてきました。国連未来サミットでは、“Beyond GDP (GDPを超えて)”をキーワードとして人々のウェルビーイングに重点を置く経済システムを構築するため、いわばWell-being Goals (WBGs)ともよぶべき枠組みについての議論が始まるということで注目されます。

関連レポート

- ・「ここが知りたい『国民全体の幸せの指標、GDW (Gross Domestic Well-being) に注目』」(2022年2月) <https://www.dlri.co.jp/report/dlri/179355.html>
- ・「国民の幸せな人生 (well-being) を政策目標に～生涯幸福量 (WELLBY) という新たな考え方～」(2021年12月) <https://www.dlri.co.jp/report/ld/176045.html>